



# 平成24年度

## 閉団式にて

平成25年3月31日発行

# 山都町剣道後援会広報誌

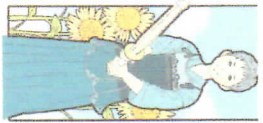


震災後二年が過ぎ、まだ福島県はろ  
るごとに帰れない人達がたくさんま  
す。難い中で早い復興を願います。  
一年間を振り返ると夏の猛暑、激し  
い冬の寒さの中で、エポック少年団の皆  
さんは、剣友会の先生のもと鍛錬し素晴  
らしい成績を残してくれました。これも  
護者の皆様の協力でもあります。このよ  
うな中で、家族愛・友達愛・地域愛  
が育つような気がします。  
このように山都町の剣道は、皆さんの  
協力で今後も活動を続け、また、少子化  
の中、友人・知人を誘い活発化すること  
を願っています。  
これから山都町剣道後援会誌活動を  
推進していきたいと思っています。

会長挨拶  
五十嵐俊一郎

4月から剣道を始めて、1年がたちまし  
た。6ヶ月間ひたすら、すり足と木刀の素  
つたので毎回回太変な事だっと思いま  
す。すり足では、足の裏にツメができてつ  
ぶれたりして、その分、体も心も強くな  
ったと思います。9月には初めての試合  
にも出て、親子で緊張感も味わいました。  
日々の練習では基本の姿勢やあいさつの仕  
方など、人として大切な部分先生方には  
教えて頂き、ありがとうございました。ま  
た、一緒に剣道をした仲間たちにも助ま  
りながら剣道をする事ができました。  
「剣道をやりたいたんだけど・・・」と習  
い始めてどの位経つかと思いましたが、あ  
ここの間に1年がたつています。  
初めはうちの子に剣道ができるのかな  
と思いましたが、親が思っているよりも子  
供の吸収する力ははるく伸びてしまし  
た。練習もとても楽しんでやっていますよ  
うなので、メガをせずにこれからも元気に続  
けてほしいと思います。

谷野 晃子



「3年生になるし、剣道やってみな  
い？」と誘い、入団して二年がた  
ちます。体型のわりにはうたれ弱い息  
子ですが、入団したことにより「心  
が強くなり、色々なことを学ぶこと  
が出来ました。大会に出場し、負け  
た時の悔しさ、勝った時の喜びを経  
験し、向上心を持って、来年度の稽  
古に取り組めたらと思います。

日下 美津子

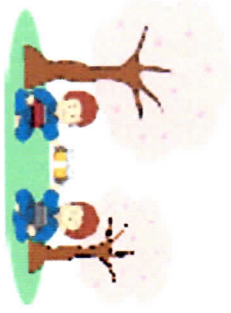


剣道がやりたいと言いつ、4月に入  
団致しました。礼に始まり礼に終わ  
る。礼儀も字へ、心身共に鍛えられ  
ると思ひ母も大賛成でした。これが  
ら先もたくさん練習し、どんどん試  
合に出て、色々な経験をしてみたい  
です。中々うまくいかず苦戦しても、  
あきらめず忍耐強く日々の稽古に精  
進してほしいと思います。  
一年を振り返って  
親の私は何もわかっていません。門  
下の子の「エポック入りたいたい」の声  
が先輩方の父兄の皆さんや先生方にお  
世話になり、大変ありがたく思ってい  
ます。これから先も子供達の精神的な  
強さも備わると信じて、頑張ってい  
たいと思います。

真部 純子

長男の入団から教える10年スル  
1ツ少年団にお世話になりました。  
思い返すと、子ども達の試合に一喜  
一憂し、本人達よりも嬉しかったり、  
涙したりとなんともうささいな母親で  
した。稽古の送迎や早朝の大会引率  
など、大変ではありましたが、「追  
っかけ」は楽しいものでした。  
息子たちよ、母に楽しい思い出を  
あげてくれてありがとう。そして、そ  
んな息子たちを指導して下さった先  
生方、本当に長い間ありがとうございました。

鈴木 恵美



退団にあたり



